

7月の植物

ハス (ハス科)

学名 : *Nelumbo nucifera* Gaertn.

佐賀平野のクリークやお堀でよく見られる馴染み深い水生植物のハス。この時期、淡紅色または白色の花をあちこちで咲かせています。

ハスの花は3～4日間開閉を繰り返して、雌性期(写真1)から雄性期と移り変わります。花の後、果実は花床上面の穴の中で成熟していきます(写真2)。ハスの肥大した地下茎はレンコンとしてよく食べていますが、このハスの果実(ハスの実)も美味しいよと友の会の先生から教えていただきました。ハスの実は8月食べ頃とのことですので、機会があれば食べてみたいと思います。

さて、佐賀城南堀のハスも優雅な花を觀賞できる名所のひとつではないでしょうか(写真3, 4)。ここのハスは以前、外来種ミシシippアカミミガメの食害により一時消滅したそうです。現在はそんな過去があったとは思えないほど、お堀一面を覆うほどハスが広がっています。地域の方々の長年の保全活動のおかげで美しいハスの花を楽しむことができます。(文・写真 : 伊藤幸子)



写真1 雌性期の花



写真2 ろうと型の花床

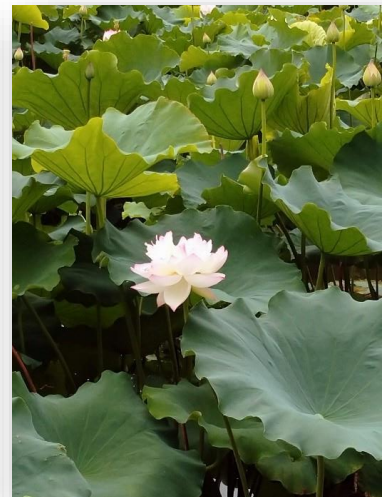


写真3



写真4

2024年6月25日 佐賀城南堀

【参考文献】

植物の世界 9 種子植物 双子葉類 9 単子葉類 1 (朝日新聞社・1997), ネイチャーガイド日本の水草 (角野康郎・文一総合出版・2014)